



BY KATHY LIEN

今日のFXマーケット 01.27.12
(2012年1月30日発行)

EUR: EU サミットに何を期待するか

EU 首脳は月曜日ブリュッセルに集まり、今年初めての EU サミットを開催する。いつも通り会談前から様々な憶測が飛び交っているが、投資家は欧州における強固なセーフティネットの確立を期待している。が残念ながら、期待外れに終わるだろう。サミットの草案によれば、今回の焦点は成長と雇用になる予定だ。各国首脳は地域経済の活性化に向けて様々な提案を行う予定だが、特に革新的なプランはない。たとえば現時点で未使用の EU 資金の一部を、「大規模な」若者再雇用計画の創設、および中小企業に対する追加融資にシフトしようというもの。不運にも欧州の大国が弱小国に財政緊縮を強制しつつある状況では、これらの計画に、歳出削減と増税が経済に与えるマイナス効果の払拭を期待することはできない。そればかりか今回のサミットでは、最も差し迫った問題、すなわちギリシャ債務交渉への対処策は討議されそうにない。欧州の首脳は、IIF との交渉が進展中との理由で、サミットがギリシャ債務問題を探り上げる必要はないと話しているが、当社の考えでは、彼らはこの問題から手を引き、ギリシャによる自助努力に任せたいのだろう。もちろん EU がこの危険な問題から完全に目を背けることはできないが、数カ月前と比べ緊急な救済策の必要性が低下したのも事実だ。ギリシャ問題の不確実性にも拘らず、EUR/USD は堅調に推移し、フィッチによる直近の格下げ発表をも無視しつつ、一カ月以上の最高水準まで上昇した。フィッチは S&P に続いてユーロ圏 5 カ国を格下げし、8 カ国をネガティブウォッチに指定した。最近の 2 週間で EUR/USD は 4 パーセント 500 ポイントを超す反発を見せたが、これは極めて大幅な上昇である。FRB のハト派的姿勢が EUR/USD の反騰に一役買ったのも事実だが、過去一カ月間欧州国債の投資家は、S&P による格下げを含む一切の悪材料に動じなかった。年初以来、欧州の多くの国債利回りに顕著な上昇は見られず、実際今日はギリシャ債務交渉の決着間近として、イールドが低下する銘柄もあった。欧州委員会のレーン委員 (経済・通貨担当) は今朝、ギリシャ政府と債権者は週末にも合意に到達し得ると述べ、月曜の EU サミット前の決着を示唆した。1.32 を突破した EUR/USD の次のターゲットは 1.34 となる。

USD: 雇用指数の持つ意味

今週 FRB は米ドルに死の宣告をつきつけ、為替市場では今日も、超緩和姿勢表明の余波が伺える。そもそも誰も FRB にタカ派への転換を期待してはいなかったが、超低金利を長期間維持するという今回のメッセージは、極めて明確な形でマーケットに伝わった。今後数カ月で米国経済に本格的な回復の兆しが現れたとしても、少なくとも 2014 年まで、FED に利上げの計画はない。バーナンキ議長は、彼らの関心が経済の活性化に向けてさらに何ができるかの、一点に絞られていることを言明した。現在ドルが好材料より悪材料に反応し易いのは、このためである。仮に今後景気が大幅に落ち込めば、FED は QE3 の実施により迅速に対応するだろう。反対に景気が上向いた場合、彼らは発表される経済指標を逐一懐疑的に精査し、それが本格的なトレンドとなるのを待つであろう。来週金曜日には、注目の非農業部門就業者数が発表される。就業者数はおそらく 150 千人前後増加し、雇用の順調な伸びを表すだろう。失業率が下がる可能性も否定できない。しかし FRB は既に失業率の低下を見込んでおり、それが彼らのハト派的姿勢を変化させることはない。その他にも個人所得、個人消費支出、消費者信頼感指数、および ISM 製造業指数と非製造業指数などが発表される。

外国為替保証金取引や、CFD、デリバティブその他のレバレッジ取引には高いレベルのリスクが潜在しており、預託した資金を超えて損失を被る可能性もあるため、全てのお客様に適用している投資商品とは言えません。本レポートの内容は

- 情報提供の目的にのみ供されるものとし、いかなる投資商品の提供・勧誘その他法的に拘束され得る行為、また、それら投資商品の推奨、助言等を意図したものではありません。
- マーケットに関する意見・予想はその正確性や完全性についてそれらを保証するものではありません。
- レポート著者の予想・意見は必ずしも、弊社及び弊社関係者の見方を反映したものではありません。
- 当社は本レポートの内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。

弊社及び著者は投資サービス、法律サービス、会計・税制サービスあるいはその他のプロフェッショナル・サービスは提供しておらず、そのような必要が生じた際は適切なプロフェッショナルからサービスの提供を受けてください。同支店は、日本においては、グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッドとして第一種金融商品取引業者登録 (関東財務局長 (金商) 第 268 号) および商品先物取引業者許可を取得しており、社団法人金融先物取引業協会および日本商品先物取引協会の加盟業者です。 www.gftforex.co.jp © 2012 グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッド 著作権/著作権所有。無断複写・複製・転載を禁ず。GD08J.006.011212